



相模原市政対策委員 中央区

相模原生まれ 相模原育ち

こさわ 隆宏 特集
たかひろ



私の親族に政治関係者は一人もいません。ただ一つ、この約13年間、常に全力で取り組んできた日頃の地域活動や政治活動を通して、自らと同じ市民目線からの市政に対する様々なご意見やご要望に、誰よりも身近に接してきた経験だけは誰にも負けません。私は現在、普通に仕事をし、3人の子どもを育てる「子育て世代」の一員です。そして同時に、私たちの相模原をより良い形で次世代に引き継ぐべき「責任世代」の一員でもあり、生まれ育った相模原に対する感謝と責任を胸に、相模原市政への道を志して活動しています。どうか皆様のお力を「こさわ隆宏」にお貸しください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

こさわ隆宏が取り組む政策

- 議員自らが身を切る改革
- 子育て・教育環境の改善
- 財政健全化の取り組み
- 安心して暮らすことができるまちづくり
- 動物愛護の推進

こさわ隆宏 プロフィール

相模原生まれ（昭和56年7月29日）
妻、長男、二男、三男、四男（猫）の5人と1匹家族
相模原市立田名小学校・田名中学校 卒業
神奈川県立相模原高等学校 卒業
東京都立大学法学部法律学科 卒業
行政書士、専門職後見人（現在後見人等5件受任中）
まちづくり会議委員
相模原商工会議所青年部理事
元相模原少年補導員
元相模原市立富士見小学校PTA会長 ほか

こさわ隆宏 事務所（日本維新の会 公認）

〒252-0236 相模原市中央区富士見5-2-14-202
TEL.042-810-0001 FAX.042-810-0002

SNSでも活動報告をしています！



ぜひフォロー・友だち追加をお願いします！



日本維新の会

共同代表 吉村 洋文

議員自らの身を切る改革

議員や首長が自らの立場や身分を十分に保障しておきながら、一方で財政のひっ迫を理由に市民に負担を強いても、絶対に理解は得られません。市民の皆様には負担をお願いするのであれば、まずは政治家自らが身を切る姿勢を示さなければなりません。

そこで何よりも先に、身を切る改革、具体的には「議員定数の削減」と「議員報酬の削減」、さらに「任期数と年齢による定年制の導入」を提案します。

子育て・教育環境の改善

合計特殊出生率が1.30人、出生数が約81万人（共に2021年）。この少子化の波を食い止めるためには、徹底した少子化対策と子育て・教育環境の改善が不可欠です。

次世代に対する給付や助成は、決して「バラまき」ではありません。将来に投資をすることで、必ずもっと大きな形で市政に反映されます。また、これまで市政の発展にご尽力いただいた高齢者や、特別な支援を必要とする方々を社会で支える基盤を強化することにもつながります。もちろん成果が表れるまでに時間はかかりますが、今やらなければさらに遅くなるだけなのです。

財政健全化の取り組み

相模原市の歳出を性質別に見ると、人件費と扶助費（医療費や生活保護費など）の合計が全体の56.3%を占めており、財源を捻出するためにはこれらの部分の削減を考えなくてはなりません。まずは前述のとおり議員定数の削減及び議員報酬の削減により議員自らが身を切る改革を進めながら、他方で行政改革の一環として業務の一層の効率化・機械化・電子化による人件費の削減を目指します。また扶助費についてはジェネリック医薬品の推奨や、生活保護制度の運用の適正化などにより、その質は担保しながら圧縮を図る方法を検討します。

安心して暮らすことができるまちづくり

民生委員児童委員や、元相模原少年補導員・元小学校PTA会長としての経験などから、青少年の健全育成や非行防止の活動に長く携わっています。また地域の皆様と共に「みんなの食堂」を主催するなど、日頃から多くの子どもたちとのふれあいの場を大切にしています。特別な支援を必要とする家庭や子どもたちに対して、まず一義的に行政による扶助に取り組むべきことは当然ですが、行政ではなかなか行き届きづらい課題に対しては、より地域に密着した民間による活動もまた重要であり、課題解決に取り組む地域の「子ども食堂」や「無料学習塾」の活動を支援することも、行政の果たすべき役割の一環であると考えています。

動物愛護の推進

我が家では3年前に愛玩動物（ペット）ではなく家族の一員として保護猫を迎え入れました。かけがえのない存在であることは人間だけでなく動物も同じで、その大切な命を守る政策にも力を入れます。

こさわ隆宏の政策

- 議員定数の削減
- 議員報酬の削減
- 議員の定年制度の導入

☆こさわ隆宏は、議員報酬の2割を被災地や市外の団体、個人等に寄付することを公約します。

こさわ隆宏の政策

- 第3子以降の出産に特別手当を支給
- 市営塾の創設や塾代助成クーポン制度の導入
- 小中学校給食の無償化に向けた検討、中学校給食の改善（地域により親子方式を導入）
- 小中学校に全児童生徒分の「タタメット」（たためるヘルメット）を常備
- 児童相談所の機能を改善し、子どもが犠牲になる事件・事故を根絶

こさわ隆宏の政策

- 議会改革、行政改革による人件費の削減
- 扶助費配分の適正化
- 「ふるさと納税」の推進

こさわ隆宏の政策

- 子どもの居場所や遊び場所づくり
- 子ども食堂（みんなの食堂）や無料学習塾の支援、公園や広場の整備など

こさわ隆宏の政策

- 犬猫殺処分ゼロの取り組みを支援
- 閉校した学校施設や跡地等を利用した動物愛護センターの整備を推進



ポスター掲示などの おねがい

こさわ隆宏の政治活動は、地域の皆様のご支援によって成り立っています。塀の端や敷地の片隅など、どこでもありがたく掲示させていただきますので、ぜひご連絡いただけますと幸いです（簡易的に屋外用シールで貼り付けるタイプであれば、壁を傷めません）。またチラシ配布のご協力なども併せて、どうぞよろしくお願い申し上げます。